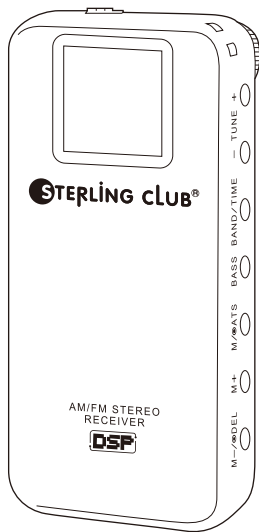


# ステレオデジタルレシーバー

## 取扱説明書



このたびは「ステレオデジタルレシーバー」をお買い上げいただきありがとうございます。お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないよう大切に保管してください。誤った使用により生じた損害に関しましては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※商品改良のため、予告なく商品の仕様が変更されることがあります。

※説明書本文に記載の社名や商品名・固有名詞は各社の商標または登録商標です。

# 1 基本機能

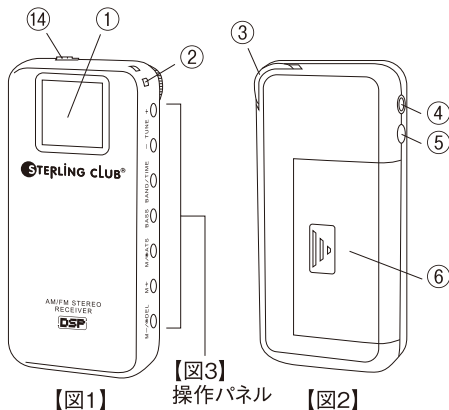
- DSP式AM/FMラジオ ●ATS(自動プリセット&メモリー)
- (マニュアル選局可能) ●低音強調ボタン
- 時計 ●スリープタイマー

# 2 電源

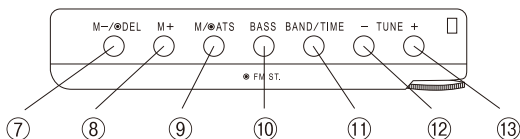
- 単4形乾電池×2本(別売り)

# 3 各部名称

- ① 液晶画面
- ② ストラップホール
- ③ 音量ダイヤル
- ④ イヤホンジャック
- ⑤ 電源ボタン
- ⑥ 電池ボックスフタ
- ⑦ M-/●DELボタン
- ⑧ M+ボタン
- ⑨ M/●ATSボタン
- ⑩ BASSボタン
- ⑪ BAND/TIMEボタン
- ⑫ -TUNEボタン
- ⑬ +TUNEボタン
- ⑭ キーロックスイッチ



【図3】操作パネル



## 4 付属品名称

---

●イヤホン ●ネックストラップ

## 5 マーク一覧

---



**ロックマーク**

全ての機能のボタンが  
ロックされます。



**乾電池満タンマーク**

乾電池の容量が多い時  
に表示します。



**電池残量少ない**

乾電池の容量が少ない  
時に表示します。



**AM表示**

AM周波数の時に  
表示します。



**FM表示**

FM周波数の時に  
表示します。



**電波マーク**

ラジオを受信時に  
表示します。



**M(メモリー) マーク**

メモリー登録時に  
表示されます。



**BASS(低音) マーク**

低音強調機能を使用時に  
表示します。



**ベッド(スリープ) マーク**

スリープタイマーを設定時に  
表示します。

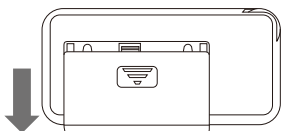


**dマーク**

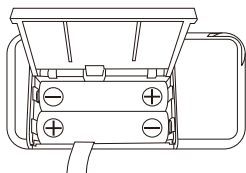
メモリー削除の時に  
表示します。

## 6 乾電池の入れ方

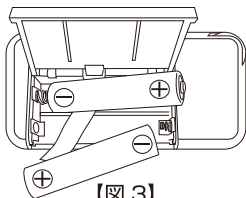
1. 背面の⑥電池ボックスフタを矢印方向にスライドさせて開けてください。【図1】
  2. 単4乾電池2本を+/-の方向に注意して正しくセットして、フタを閉じてください。【図2】【図5】  
(乾電池のマイナスのバネ側から入れてください。)【図3】  
※アルカリ乾電池とマンガン乾電池や新旧の乾電池や種類の違う乾電池等を混ぜたりして使用しないでください。発火、破裂や液漏れの恐れがあります。
  3. ⑥乾電池ボックスフタ内にある取り出しペロを電池ボックスの底に敷いてセットすると乾電池を取り出す時に便利です。【図4】
3. 電池を入れると時計表示(12:00)表示され秒を刻み始めますので時刻を合わせてください。



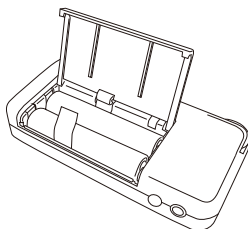
【図1】電池ボックスオープン



【図2】電池方向



【図3】



【図4】取り出しペロ



【図5】

## 7 時計の合わせ方

---

- 1.電池を入れると時計表示(12:00)表示され秒を刻み始めますので時刻を合わせてください。
- 2.時計表示の24時間表示と12時間表示を選択します。  
⑪BAND/TIMEボタンを5秒以上長押しすると、液晶画面にH24と表示され24時間表示になります。もう一度、⑪BAND/TIMEボタンを5秒以上押しすと、12時間表示になります。
- 3.時計表示モードで、⑪BAND/TIMEボタンを押すと、“時”が点滅します。  
⑫-TUNEもしくは⑬+TUNEボタンで“時”を合わせます。もう一度⑪BAND/TIMEボタンを押すと“分”が点滅します。  
同じように⑫-TUNEもしくは⑬+TUNEボタンを押して“分”を合わせます。“分”を合わせてから(まだ“分”は点滅状態です)更に⑪BAND/TIMEボタンを押すとゼロ秒スタートとなります。  
注:“分”の点滅は約15秒間続きます。これを過ぎてしまうとゼロ秒スタートはできませんのでご注意ください。

## 8 イヤホンの使い方

---

- イヤホンをイヤホンジャックに差し込んでください。イヤホンがFMアンテナの役割を果たします。
- 本体裏側の左上角に音量ダイヤルがあります。(VOL▲)最初は音量ゼロの状態から徐々に回転させて適音で止めてください。



音量が大の状態ではイヤホンをする耳に障害を与える恐れがありますのでご注意ください。

## 9 AM/FMの切り替え

---

- ⑤電源ボタンを押した後、⑪BAND/TIMEボタンを交互に押しすとAMとFMの切り替えができます。

## 10 選局の方法

---

自動スキャンと手動スキャンの2種類があります。

### ◎自動スキャン

本体右側面の⑫-TUNEもしくは⑬+TUNEボタンを約3秒長押しすると自動的に数字が進み、受信可能な放送局で止まります。

### ◎手動スキャン(上記自動スキャンで捕捉できなかった場合)

⑫-TUNEもしくは⑬+TUNEボタンを押してご希望の放送局の周波数を表示させてください。(表示できても電波状態が悪い場合はきれいに受信できません)

メモリー登録するには

FM40局、AM20局のメモリー登録が可能です。

AM/FMを選んで⑨M/◎ATSボタンを約3秒長押しすると、自動チューニングが始まり受信可能な放送局がメモリー登録されます。

FM ATS:40メモリー(1から40)

AM ATS:20メモリー(1から20)

※メモリーできる放送局数はお使いになる地域や電波の強さ等により異なりますので、予めご了解ください。

注:ATS作業中はあらかじめ登録された放送局は自動的に受信した放送局に上書きされます。


## 11 登録した放送局を聴くには

---

⑧M+もしくは⑦M-/◎DELボタンを押して、ご希望の登録した放送局を選んでください。画面に周波数とメモリー番号が表示されます。

## 12 個々のメモリーの消し方

---

⑦M-/◎DELボタンを長押しして画面に(  )という文字が表示されたのを確認して、もう一度⑦M-/◎DELボタンを押すとメモリーが削除されます。

## 13 全てのメモリーの消し方

---

約5秒間⑦M- / ⑥DELボタンを長押しして画面に(🗑️)という文字が点滅したのを確認して、もう一度⑦M- / ⑥DELボタンを押すと全てのメモリーが削除されます。

## 14 低音強調機能

---

低音強調機能を使用する場合は⑩BASSボタンを押して、画面に(🔊)マークが表示されるのを確認してください。これで低音が強調されたサウンドをお楽しみいただけます。

もう一度⑩BASSボタンを押すと画面から(🔊)マークが消えます。これで低音強調機能がOFFとなります。

## 15 FM ステレオ/モノラル

---

⑩BASSボタンを約5秒長押しするとステレオになります。もう一度押すとステレオが解除されます。

注:電波状態が悪い場合はステレオになりませんのでご了解ください。

## 16 FM周波数の設定 (項目7にてメモリーをしていない場合)

---

⑧M+ボタンを約8秒長押ししてお好きな放送局(76~108Mhz)を設定してください。

## 17 AMチューニングステップの確認

---

時計表示モードでディスプレイにA10/A09という文字が表示されるまで⑩BASSボタンを約5秒間長押しして9Kまたは10Kを選んでください。  
注:最初の設定は9Khzになっています。(日本での使用は9Khzステップです)

## 18 スリープタイマーの設定

---

時計表示モードで⑬+TUNEボタンを押すと、ディスプレイに(🔊)ロゴと”分”が表示されます。

⑭-TUNEもしくは⑬+TUNEボタンでお好みのスリープタイマーをかけたい時間をお選びください。5分、10分、20分、30分、40分、50分、60分、70分、80分、90分から選べます。この指定された時間を選ばない限り、自動的にラジオは切れません。

時間が点滅している間にラジオに切り替えると、指定した時間に自動的にラジオが止まります。

## 19 ロックの方法

---

本体天面にある⑮キーロックスイッチを左にスライドさせるとディスプレイに(🔒)マークが表示され、全ての機能のボタンがロックされます。キーロックスイッチを右にスライドさせるとディスプレイから(🔒)マークが消え、ロックが解除されます。

※この機能はラジオ放送をお楽しみ中に誤ってボタンを押しても必要な機能が働かないようにするためです。各種設定時には解除してください。ただし音量ダイヤルはロックされませんのでご注意ください。

## 20 ネックストラップについて

---

付属品のネックストラップを⑯ストラップホールに取り付けると持ち運びが便利になります。



## 21 仕様

- 受信周波数 AM:522~1629KHz  
FM/ワイドFM:76.0~108.0MHz
- アンテナ イヤホン兼用
- イヤホン端子  $\varnothing 3.5\text{mm}$
- 電源 単4型乾電池×2本(別売り)
- 材質 ABS樹脂



警告



注意

- 小児に手の届かないところに保管してください。
- 本製品を分解・修理・改造しないでください。発火したり異常作動するおそれがあります。
- 携帯時や保管中に、不用意にスイッチが押されてオンにならないようご注意ください。
- 防水・防滴仕様ではありませんので、雨、シャワーなど水に濡れる恐れのある場所での使用は絶対におやめ下さい。
- 電池の極性(+/-)の方向を間違わないでください。
- 規格の異なる電池は使用しないでください。
- +/-をショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携行、保管しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜き取ってください。そのまま放置しますと、液漏れ、腐食、発火、故障などの原因となります。
- 電池の液漏れや、異臭があった場合は、漏れた液に引火するおそれがありますので、すぐに火気から遠ざけてください。

※ケガや故障の原因になりますので、上記を必ずお守りいただいた上でご使用下さい。